

Kitakyushu Foreign Trade Association

GLOBAL VIEW

2011 WINTER No.15

北九州貿易情報「グローバル・ビュー」2011年・冬号

- **言志私録** ● 『今年こそ「仕事で泣けるか」』北九州商工会議所 会頭 利島 康司…………… 1
- **新年挨拶** ● (社)北九州貿易協会 会長 田坂 良昭 / 北九州市長 北橋 健治…………… 2
- **特 集** ● AIM海外政府事務所紹介…………… 4
- **事業紹介** ● 環黄海経済・技術交流会議 / インドネシアへ北九州製品・技術の売り込み開始… 6
インキュベーションオフィス入居企業紹介(株)ティー・アイ・ティー / (株)ドリス)…………… 8
- **ジェトロ** ● 機械・金属加工分野の海外展開 / マレーシア自動車ビジネスセミナー・名刺交換会… 9
- **会員情報** ● 会員だより(日鐵運輸) / 会員紹介(アリババマーケティング(株) / (株)北九州シティFM) … 10
- **ニュース** ● アジア経済情報…………… 12
- **貿易実務** ● データベースを用いた地域比較 / 貿易質問箱…………… 13
- **メンバー** ● (社)北九州貿易協会 海外事務所紹介…………… 15
- **イベント** ● 九州工業大学事業開発ビジネス講座…………… 16



KFTA
Kitakyushu Foreign Trade Association
社団法人北九州貿易協会



北九州商工会議所
会頭

利島 康司

今年こそ「仕事で泣けるか」

私はある会社(株式会社 安川電機)の会長もつとめている。数年前の社長時代に「仕事で泣けるか」という人生訓をある雑誌に書いた。

私にとって会社イコール人生といえるほど、私はこの会社が大好きな会社人間である。私の人生の満足度(達成感)はこの言葉が一番よく表している。ある仕事(業務)を終えたとき、声を出し、涙を流して泣けるような達成感を味わえるほど素晴らしい仕事を、人生の中でやりとげたいと思っている。それが夢である。

この言葉は私が尊敬する超大手優良メーカーの開発技術の方が、会社を円満に退職された時に「俺は幸せだ」「会社の仕事で2度泣けた」と私に満足げにいった言葉である。この時のこの方の顔は本当に幸せそうで眼が輝いていた。大変な苦勞をした末に仕事を完成させ、男泣きに泣ける。これが男の仕事なのだと思った。私はこの言葉を聞いた瞬間、じーんと胸に込み上げてくるものがあった。

私もその後会社の仕事で泣きたいと思ってやっているが、まだ思い切り泣けていない。しかし常にそう思うことが、私自身のモチベーションになっている。どうしたら「仕事で泣けるか」。私はこう思っている。常に高い目標をもってチャレンジし、いろいろな難問を解決する。それも何人もの仲間と一緒に汗をかきやりあげて行く。多くの人とつながりあって仕事をやりとげることである。現在のように変化が激しく問題が山積している時であっても、世の中で困っていることを解決するために、不可能と思えるような目標に向かって仕事をしていく姿勢があれば、いつか必ず「仕事で泣ける」と思っている。それが、じーんと湧いてくる心の満足感であろう。

大好きなこの街のために、この度お引き受けした「北九州商工会議所」の仕事を通じて、泣けるほどの素晴らしい仕事ができるように努力していくつもりである。「仕事で泣ける」チャンスをいただいたことを心から感謝している。今年こそ「仕事で泣ける」かも知れない。

利島康司



「佐藤一斎 像」
渡辺崋山 筆

当ページの由来となった「言志四録」は、江戸時代後期、儒学の最高権威と崇められた「佐藤一斎」が40数年の歳月をかけ記した語録。小泉前総理が、審議中に「言志四録」についてふれ、知名度があがる。現代にも通じる指導者のためのバイブル的存在。

(参考:ウィキペディア)

新年のご挨拶



社団法人 北九州貿易協会
会長 田坂 良昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、平素より当協会の運営に対しご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨年日本経済を振り返りますと、百年に一度と言われた世界経済危機の影響から、ゆっくりとではありながら回復しつつあるかに見えた景気でしたが、6月以降の急激な円高により足踏み状態に入りました。個人消費は、自動車や家電に対する政府支援もありましたが、全般的には相変わらず振るわず、デフレ状況も長く続き、雇用情勢もいつそうの厳しさを増しております。特に、今後も円高傾向が長引くと、輸出型産業に与える影響は大きく、経営の最適化を求めて生産拠点を海外にシフトさせる動きが加速することが予測されます。

また、北九州地域の経済を見ますと、輸出は、一昨年の落ち込みからは回復してまいりましたが、ひと頃の高い伸びにまでは至っておりません。生産面では、雇用・所得面に厳しさを残しつつも穏やかに回復しつつあります。しかしながら、長期的には国内市場が縮小していくなか、産業分野を問わず、販路や調達先を海外に求める経営判断が迫られる場面が、地方においても増えていくことは間違いないでしょう。

海外に目を向けてみますと、欧米の経済が低迷する一方で、経済発展の著しいアジアは、膨大な消費人口を抱えていることからマーケットとしても大変魅

力ある地域となっております。

企業にとりまして、会社の発展のためには、世界のどの地域で次の展開を図るのか、海外のどの企業と提携して企業を発展させるのか、広い視野と視点での取り組みが必要となっております。加えて、企業が海外展開を図る上で、新鮮な海外情報の入手、貿易に詳しい人材の育成は極めて重要なこととなります。

このような環境を踏まえ、当協会は、北九州・京築地域における唯一の国際ビジネス支援団体としての責務を果たすべく、各種事業に取り組んで参りました。

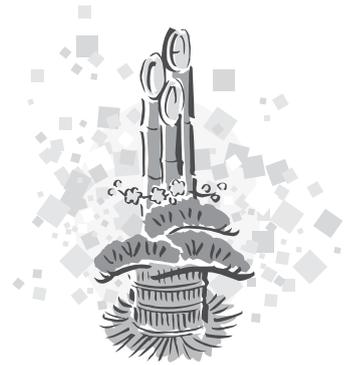
本年も、ウィークリーニュースをはじめとする「国際経済専門情報の提供」と、貿易実務講座に代表される「国際ビジネス人材育成」を中核事業と位置付けながら、北九州市及びジェトロ北九州とともに運営する「北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター(KTIセンター)」事業や、大連及び上海事務所による中国ビジネスサポート等を通じて、会員企業と地域経済の発展のためにお役に立ちたいと考えております。

また、皆様の声に耳を傾けながら、事業の充実・拡充に取り組んでまいりますので、これまで以上のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

新しい年が、皆様にとって実り多き年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。



北九州市長
北橋 健治



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、まちづくりの基本ルールとなる自治基本条例の制定、平和の大切さを後世に伝える非核平和都市宣言の実施、市民一丸となった暴力追放運動など、市民とともに取り組むまちづくりに大きな進展がありました。40万人を超える存続署名を集めた旧九州厚生年金会館も、アルモニーサンク北九州ソレイユホールとしてオープンしました。

本年も、こうした市民との協働を重視しながら、本市の中長期ビジョンである「元気発進!北九州」プランに基づいた施策を戦略的に進めていきます。

特に、保育サービスの充実など子育て・教育日本一を実感できる環境づくり、介護予防や認知症対策などの高齢者支援の充実や市民の健康づくりを進めます。

また、市民の安全・安心の確保では、いのちをつなぐネットワークの充実や自治会・ボランティア活動の支援など地域コミュニティの活性化、昨年の中核中症や近年頻発するゲリラ豪雨などの自然災害への対策に努めます。さらには、暴力追放運動も強力に押し進めます。

一方で、本市の発展に向けた地域経済の活性化も重要です。的確な経済・雇用対策に引き続き取り組むとともに、本市の強みである「環境」と「アジア」をキーワードとした緑の成長戦略に重点を置いて取り組みます。具体的には、次世代の環境技術を核に、交通システムやライフスタイルの変革を図る様々な実証を行う八幡東区東田地区のスマートコミュニ

ティ創造事業などにより省エネ・低炭素のまちづくりを全国に先駆け進めるとともに、街なか居住の促進や身近な公園・道路の整備など質の高い生活空間づくりを推進します。また、昨年6月に開設したアジア低炭素化センターを中心とした地元企業の優れた環境技術の海外輸出支援、大連市や仁川市など中国・韓国諸都市との経済連携の強化などに取り組みます。

さらに今年も、九州新幹線が全線開通します。本市においても、小倉駅の南・北出入口の市民公募による名称変更を行うとともに、B級グルメの祭典「九州B-1グランプリ」を始めとする集客プロモーションなどを通じて、本市の魅力を発信していきます。また、小倉駅周辺では、低炭素社会を支えるLEDや太陽光発電などの積極的な導入やシンボルロードの整備など環境首都の顔づくりが進められていますが、来春開設予定の(仮称)北九州市漫画ミュージアムや5年先の開設を目指す新球技場の整備など、さらなるにぎわいづくりを進めます。

現在、世界の社会経済情勢は劇的に変化を続け、うねりの中で日本は漂流しているとも言われています。そのような状況に対して、本市には、「環境」と「アジア」という強みがあり、日本を牽引していく潜在力と可能性があります。本市の強みを最大限に発揮するとともに、様々な環境の変化に柔軟かつ迅速に対応しながら、市民と協働するまちづくりに取り組み、北九州市の未来に向けた歩みを続けてまいります。

HAPPY NEW YEAR!

Bonne et Heureuse Année!

新年明けましておめでとうございます。

カナダ政府西日本通商事務所は、在日カナダ大使館商務部の出先機関であり、広島から沖縄までの担当エリアにおいてカナダと日本企業間の貿易促進や投資促進、技術提携などのサポート業務を行っています。

活動分野は食品や建材、航空宇宙、自動車、ICT、環境、エネルギー、ライフサイエンスなど多岐に渡ります。ここ2、3ヶ月の間だけでも、個別のカナダ企業の訪問に加え、ブリティッシュ・コロンビア州からは水素関連企業やゲーム企業、建材ミッション、アルバータ州からは蜂蜜ミッション、ケベック州からは航空宇宙ミッションなどが九州・中国地域を訪れています。

カナダは農産物、石油、天然ガス、ウランなど豊かな天然資源に恵まれているとともに、産業や技術の発達した国です。原油埋蔵量は世界第2位、コークス用炭でも世界第2位の産出国であり、カナダは日本にとって主要供給国となっています。近年のアメリカに端を発した世界金融危機は記憶に新しいところですが、カナダは堅実な金融政策が功を奏し、その打撃を最小限に抑えられたと共に経済の回復も早いと言われています。このような底力と活力のあるカナダは日本をはじめ、アジアとの取引を重視しています。

そういった中で弊事務所は、西日本地域においてカナダと地元とのビジネス交流を一層促進していくために日々活動しております。カナダに関してご関心やご質問などございましたら、お気軽に弊事務所までお問い合わせください。



都オタワにあるParliament building(国会議事堂)



RCMP (国家警察の王立カナダ騎馬警察)の制服を着たMooseのマスコット

お問い合わせ先

カナダ政府 西日本通商事務所 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目8-1 AIMビル8F
TEL: 093-533-4300 FAX: 093- 533-4301

～貴社のビジネスをトータルサポート～

大連市人民政府駐西日本経済貿易事務所を活用してみませんか

西日本特に九州地方の企業が大連及び中国でのビジネスのお手伝いをさせていただきます。

- ◆大連に現地法人、合併企業をつくりたい…
- ◆大連及び中国へ製品、技術やノウハウ(サービス)を売り込みたい…
- ◆大連と人材交流(IT関連、研修生など)をやりたい…
- ◆大連及び中国のビジネス、市場情報を知りたい…
- ◆大連観光を案内してもらいたい…
- ◆大連と友好親善交流を促進したい…



■事務所メンバー

所長：李 述喆(リジュツテツ)

副所長：石牟礼 宏(イシムレ ヒロシ)

などなど、どうぞお気軽にお問い合わせください。必要性に応じて現地調査の同行もOK。

大連市メモ

人口 戸籍人口584.8万人、居住人口617万人(2009年末まで)

面積 12,574Km²(新潟県の面積と相当)

年平均気温 10.5℃

年間降雨量 550～950mm

主要産業 IT関係、石油化学、電子、造船、機械製造、食品、冶金、製薬、水産加工、自動車部品製造、アニメ製作、縫製ほか

日本の姉妹都市 北九州市(1979年締結)、舞鶴市(1982年締結)

大連スポットライト

経済 2009年のGDPは4417.7億人民元、前年比15%増加。2009年の財政収入は400.2億人民元、前年比18%増加。

金融 2009年末まで、金融機構の数は197社。

観光 2009年の国内の観光客は延べ3412万人、うち海外観光客は約105万人。

交通運輸 2009年の大連港の貨物取扱量は約2.73億トン、うちコンテナの取扱量は457.5万基。

大連空港はすでに150の空路を開通、13カ国の89都市と就航、2010年の利用者は1100万人に達する見込。

市内地下鉄1、2号線は2009年7月から建設開始、2012年に開通する予定。地下鉄1号線の総距離は25.06km、20の停車駅設定。2号線の総距離は42.56km、28の停車駅設定。

都市建設 面積20平方kmもある市内の東海に面する東港ビジネス・レジャー総合区域は現在建設中、区域中には世界4位である高さ518mにも及ぶ大連緑地センタービル、大連国際会議センター、ヨット・ハーバー、超5つ星ホテルである大連万達公館ビルなどが建設される予定。これと同時に大連化学工場と製鉄所引越に伴って、元地に敷地面積483³に及ぶ梭魚湾ビジネス区域を建設する予定。これの建設が終わったら、東港ビジネス・レジャー総合区域と海を挟んで大連ダイヤモンド港湾の形成が期待される。

展示会 2009年に各種展示会は106回開催。

年間主要イベント 旧正月の間一行られる花火大会、5月末—アカシア祭り、7月—中国国際ビール祭り、9月—国際ファッション・コレクション、10月—全日空杯国際マラソン大会。

お問い合わせ先

大連市人民政府駐西日本経済貿易事務所 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目8-1 AIMビル8F
TEL: 093-551-6609 FAX: 093-551-6669 E-mail: li_shuzhe@chime.ocn.ne.jp

受付時間/9:30～17:00(月～金)

第10回 環黄海経済・技術交流会議《事務局報告》



10月13日(水)～15日(金)に開催されました西日本最大の環境産業見本市「エコテクノ2010」に合わせ、環黄海経済圏域を対象とした10の国際会議・イベントを、環境に焦点を当てて開催することから、この期間を「環黄海WEEK」とし、事業の相互連携による相乗効果の創出を図りました。

「第10回環黄海経済・技術交流会議」はこの期間中13日(水)～14日(木)に北九州市で開催され、韓国からは知識経済部貿易政策官・韓珍鉉(ハン・ジニョン)氏をはじめとした約130名の方が、また中国からは商務部亜州司副司長・宋耀明(ソン・ヤオミン)氏、科学技術部国際合作司参事官・王啓明(ワン・チミン)氏をはじめとした約120

名の方が参加しました。九州からは社団法人九州経済連合会会長・松尾新吾氏、九州経済産業局局長・瀧本徹氏をはじめとした約400名の方が参加し、総勢約650名が一堂に会しての国際会議となりました。

今年で10回目を迎えた「環黄海経済・技術交流会議」は、3国持ち回りで開催され、2001年の第1回目を福岡市で開催して以来、日本では第4回目を宮崎市、第7回目を熊本市で開催してきました。第10回目は、テーマを「環境・省エネ」と定めたことから、1990年の「グローバル500」の受賞をはじめ、「北九州エコタウン事業」の取り組み、「環境モデル都市」の認定、「アジア低炭素化センター」の設立等、『環境分野』での業績が著しい北九州市に白羽の矢が立った訳です。

本会議では、三カ国の代表挨拶や開催地を代表しての北橋市長の挨拶、関連事業の開催報告に加え、「環黄海環境経済圏の形成」や「都市間交流の推進」等について意見交換が行われ、この結果、より実質的な協力促進に向けて、今後相互に必要な協議や調整を行う等、フォローアップに努めることで一致しました。

また、「二国間経済交流等の推進」を図るための「第17回九州・韓国経済交流会議」や、東アジア経済交流推進機構(通称:10都市会議)の「ものづくり部会」と「環境部会」も同時期に開催されました。

最後になりますが、今回の会議は、九州経済産業局を軸に、社団法人九州経済連合会、北九州市が一体となって事前準備に取り組んだとともに、会期中を含め多くの関係者のご協力を得て成功裏に終えることが出来ましたことをご報告させていただきます。関係者の皆様に紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。有難うございました。



インドネシアへ北九州製品・技術の売り込み開始!

～地域企業9社がジャカルタ工業展示会に出展～

安定した経済成長を維持し、本市の有力な販路開拓先として期待されるインドネシアにおいて、同国最大の工業展示会「第21回国際製造機械、装置、機材及びサービス展」が、12月1日(水)～4日(土)の日程で開催されました。本市からは、環境・省エネに配慮した金属加工及び機械などの製品・サービスを提供する地域企業9社が経済産業省の支援(地域産業集積海外展開支援事業)を受け出展し、現地企業との商談を実施しました。

出展企業は、(株)志磨テック(八幡西区)、スペロセイキ(株)(小倉南区)、大光炉材(株)(戸畑区)、(株)東洋電機工業所(八幡西区)、(株)ドーワテクノス(同左)、(株)ビートルマネジメント(同左)、(株)松島機械研究所(同左)、(株)三井ハイテック(同左)、(株)折尾鉄工所(遠賀郡芦屋町)の9社。展示会ではアセアンの半数近くを占める2億3千万人超の人口を抱えるインドネシア市場の開拓を目的に、積極的な商談を行いました。商談件数は4日間で合計700件を超え、うち15件(23百万円)が成約見込み、約100件が商談継続となるなど、充実した商談結果となりました。

また、会期中に、出展者は現地企業の視察、進出日系企業との意見交換会に参加しました。出展者の殆どは、初めてのインドネシアビジネスでしたが、今回の出展を機にインドネシアを有望な市場と再認識しました。

なお、21回目となる同展示会には34国/地域から2,206社もの企業が出展し、開催規模は過去最大となりました。海外からは日本の147社をはじめ、中国、韓国、台湾、シンガポール、タイ、マレーシアなどからも多数の企業が出展しており、インドネシアの巨大マーケットを狙うアジア各国の熱い眼差しを感じました。

今後共、北九州市は、市内企業のインドネシアをはじめとする新興国向け国際ビジネスを積極的に支援していきます。ご関心をお持ちの皆様からのお問合せをお待ちしております。



展示会場内の北九州ブース

第21回 国際製造機械、装置、機材及びサービス展 ～ 概要 ～

会 期：2010年12月1日(水)～4日(土)
会 場：ジャカルタ・インターナショナル・エキスポ
(ジャカルタ市) (延べ床面積4万㎡)
出展社数：2,206社(34カ国/地域)
来場者数：49,407人(前回実績比4割増)



お問い合わせ先

北九州市貿易振興課 TEL: 093-551-3605 担当:安武・上野(淳)

AIM 8F・インキュベーションオフィス《入居企業のご紹介》

国際ビジネスを新たに行う企業・個人・団体のステップアップのために、簡易オフィスをご用意しております！

国際ビジネスや貿易、対日投資で起業をお考えの方は、ぜひご利用ください。

株式会社 ティー・アイ・ティー

北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIM8F IBPO2号室 TEL.093-953-9829 FAX.093-953-9842

当社は、平成20年(2008年)タイの有数財閥であるバラウインザーグループの日本総代理店として設立され、主に食品、厨房機械、郵便ポスト等の販売及び輸出入をしています。

タイの工業製品は低価格でありながらクオリティーの高さに定評があり、デザイン性の高い鍵付き郵便ポストは主に関東を中心に多くの注文をいただいております。また、本年度より世界の5つ星レストランや、エアーライン、レストランで長年愛用されてきましたカトラリー、ステンレス製テーブルウェア、ホテル・バー用品をタイ工場より直輸入しております。

タイへ初めての輸出となった日本のソフトクリーム販売事業は店舗展開も進み、バンコク市内の百貨店やショッピングセンター内で4店舗のショップをオープンさせ、連日行列ができるほどの人気を誇っています。来年早々には、ソフトクリームを中心としたデザートカフェを新規オープンする予定です。

今後は、福岡を中心に商品、製品を紹介し、人・モノの流通をはかり、日本とタイ、ASEAN諸国との架け橋になるよう努めてまいります。

今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



世界に輸出している郵便ポスト



タイバンコク市内のショップ



バラウインザー本社ショールーム

Doris

HOME 会社概要 ショッピングガイド オンラインストア 保証・アフター お問い合わせ



当社は2009年に設立したばかりのインテリア・家具を主に取り扱う会社です。主に中国を生産拠点として、メーカー選定、商品の企画・開発・検品など海外で発生する業務は勿論のこと、貿易業務、日本国内流通までの一切を提案いたします。

長年培った貿易と商品知識を持ち合わせており、また海外に拠点を置く協力会社のサポートを受けることで、現地メーカーの技術、管理指導を確実に行っていきます。その結果、海外製品のイメージであった「安かろう、悪かろう」ということも殆どなくなり、価値ある商品を魅力的な価格で、そして確実に売れる商材の提案が可能になりました。

まだまだ生まれたばかりの非力な会社ですが、必ずや誰かの役に立てる会社として存在価値を見出し、大手では困難な小回りを利かせた仕事を少数精鋭で行って参ります。



株式会社 ドリス

北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル8階 BSC8

TEL:093-953-7973 FAX:093-953-7973

<http://www.remembrance-doris.com/>

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/grazia-doris/>

Doris

お問い合わせ先

KTIインキュベーションオフィス TEL: 093-551-4798

<http://www.kfta.or.jp/inc.html>

事業のご案内 機械・金属加工分野の海外展開（韓国・ベトナム）



慶尚南道・昌原の工業団地

ジェットロは北九州市と連携して、機械・金属加工分野の産業が集積している韓国の南東部の慶尚南道と、ベトナム北部ハイフォンとの地域間交流を行なっています。現地企業や行政機関などと交流したり、現地の最新情報を得たり、現地市場へ効果的に参入するチャンスを提供しています。具体的には、研究会での情報交換、商談会の開催、現地への視察ミッション派遣などに参加いただけますので、ご関心のある方はお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

ジェットロ北九州 (担当: 酒向) **TEL: 093-541-6577**

韓国・南東部の慶尚南道

ソウルに次ぐ広域経済圏である南東部は、工作機械、造船、自動車部品の産業が大規模に集積しています。特に、慶尚南道とその道庁がある昌原市は、韓国における機械産業のメッカであり、戦略的に産業の高付加価値化を進め、機械産業、産業用ロボット、ユビキタス技術を用いた知能系製品、バイオ産業を育成しています。交流事業では、現地の企業支援を行なう慶尚南道テクノパークと連携し、ユニークな技術・製品を持つ企業との交流を進めます。

ベトナム・北部のハイフォン地域

高い経済成長を記録するベトナムは、安価な労働力の供給地としてだけでなく、消費市場としても注目を集めています。ハイフォン市は、造船産業を筆頭に鉄鋼など重化学産業が盛んな地域です。近年は高付加価値型の加工組立産業の集積が進んでおり、それを支える裾野産業の高度化に向けた需要が見込まれています。同様の裾野産業が集積する北九州企業のノウハウが活かせる有望市場といえるでしょう。

開催報告 マレーシア自動車ビジネスセミナー・名刺交換会



名刺交換会の様子

自動車市場が活発なアジアの新興国では、現地生産化が進むとともに、生産拠点間の競争が激しくなっています。このような状況の中、現地生産に向けた進出のためには、現地企業との提携が重要となってきます。ASEAN自由貿易地域 (AFTA) ・日マレーシア経済連携協定 (JMEPA) のネットワークが活用でき、ASEAN最大の自動車販売市場を持つマレーシアについて、10月26日に開催した本セミナーでは、マレーシア自動車部品工業会 (MACPMA) と会員企業である10社がプレゼンを行い、日本企業の参加者との交流も行なわれました。

※日本とマレーシアは、2005年に経済連携協定 (EPA) を締結しました。両国間政府にてマレーシアの自動車・自動車部品産業の国際競争力を向上させるための共同事業を実施することを合意しており、今回のセミナーもその一貫にて開催されています。



日鐵運輸大連事務所だより

ニーハロー!日本の皆様、お元気ですか。私は日鐵運輸株式会社大連事務所の范青(ハンセイ)と申します。

2006年10月に大連事務所に駐在してから、今年でもう5年目に入りました。駐在前は大連をあまり知らなかったのですが、大連のこの四年間の大発展とともに、今は大連が大好きになりました。そこで、大連のこの四年間の変化を簡単に述べたいと思います。



3つの海に囲まれている大連は、ロマンチックな都市と呼ばれています。環境が良く、非常に美しいと旅行業界で名高い臨海都市として、近年、大連産業構造戦略を通じて、経済発展スピードは絶えず加速しています。

2008年度全国グローバルオフィショアデリバリーランキング9位、2009年度都市環境保護競争力ランキング9位、2009年度マンション価格ランキング10位、2010年都市総合競争力9位になりました。一人当たりGDPは2006年の42,579億元から2009年の72,067億元に、成長率は69%にも達成しました。対日本の輸出は2006年の52.1億ドルから2009年の63.2億ドル、伸び率は21%、輸入は2006年の34.8億ドルから2009年の41.4億ドル、伸び率は19%となり、輸出入ともに大連における日本は、主要貿易国となっています。

交通の面では、2007年8月23日、ハルビンと大連を結ぶ高速鉄道(新幹線)が着工されました。2012年初頭竣工の見込みで全長904キロメートル、最高時速は300~350キロ、ハルビンまでを現在は最低でも9時間かかるところを高速鉄道は、将来的には3時間程度で結ばれ、所要時間は劇的に短縮されます。

2009年から哈大客運専用線と瀋山客運専用線(路線バス専用線)の工事が開始され、完成時には、現在北京までの列車での所要時間は10時間から5時間に短縮されることが見込まれています。

2009年8月より大連初の地下鉄1号線、2号線の工事も開始され、2012年中には完成する予定です。

その他、港湾事業においても数多くのインフラ整備が順調に進み、今後の物流の拡大は大いに期待できます。

大連は、東北地区、環渤海経済圏、北東アジア経済圏での中心都市として地位を確立し、上海、香港のようなハイレベルな貿易拠点としての位置付けを目指し、新世紀へ向けて発展中であり、日鐵運輸(株)大連事務所も著しく成長することの大連と共に発展していきたいと思っています。

アカシアの町、日本人に住みやすい町として知られている大連市は、以前のピーク時には、日本人が23万人も暮らしていたと言われていました。日本の皆様、もし機会があれば、是非大連にお越しになって、大連の街を実感してください。

アリババマーケティング株式会社

北九州の皆様、初めまして。弊社は中国に本社がある「Alibaba.com (アリババドットコム)」の日本法人であるアリババ株式会社 (アリババジャパン) の販売代理店として2009年4月に創業致しました。

貿易に精通している方なら耳にされたことがあると思いますが、このアリババドットコムは「インターネット上の世界最大級の展示会」です。世界190ヶ国と地域に、1490万 (2010年9月末時点) の会員を有しています。

今、中国を始めとする新興国の経済が、凄まじい勢いで発展しています。GDPで言いますと、中国は今年確実に日本を抜き去り、15年後にはインドも日本を越えると予測されています。昭和30年代に日本で起こった高度経済成長が、今後あらゆる新興国で発生すると考えられています。

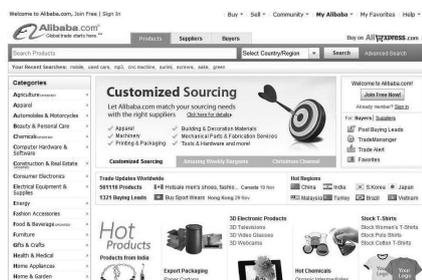
アリババドットコムは、1日に約1万社の割合で会員が増えています。そのほとんどが新興国の企業で、しかも約9割がバイヤーです。新興国のバイヤーは、自国の拡大する内需に対応するため、アリババというネットワークを使っ

て、世界から商品を調達しようとしています。

日本の中小企業にアリババをご利用いただき、海外の内需を取り込んで日本経済を活性化させる、そして新興国に日本の高度な技術や製品を提供することで、環境、食料、エネルギーの問題解決に貢献すること。これが私共のミッションです。

是非、世界最大級のインターネット上の展示会にアクセスしてみてください。

▶ <http://www.alibaba.com>



アリババマーケティング(株) / 北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル8F TEL:093-513-1016 <http://www.alibaba-m.jp>

株式会社 北九州シティFM



当社の主業務は、コミュニティ放送局「FM KITAQ (エフエムキタキュー)」の運営です。コミュニティ放送局とは市町村単位で総務大臣から免許が付与されるFMラジオ放送で、地域密着の情報発信、災害時の緊急放送などを行うことが課せられています。当社は平成16年12月小倉北区魚町に開局して以来、「地域の方参加型」をモットーに、朝7時から夜10時まで「今のことを、今伝える」生放送を行ってまいりました。現在では、ラジオ放送以外に、イベント、情報誌の発行、お取引先企業の販売促進、Webサイトの構築ほかマーケティング活動全般を手掛けています。さらには、地元・関門海峡産のタコを使ったせん

べいも企画・商品開発・販売するなど、さまざまな側面から「地域を元気に」する活動に取り組んでいます。

また、北九州市に投資を呼び込む中国語のWebサイト制作のお手伝いをしたことがきっかけで、上海のIT企業と連携し、今後は、北九州・福岡の地場企業の製品・商品を中国マーケットにつなぐ業務も手掛けていく予定です。

メディアというのは、そもそも「中間」「媒介」という意味。何かと何かを結ぶ仕事か私どもの事業領域です。黒子となって、地域の元気づくりにお役に立てればと思っています。



FM KITAQ (株)北九州シティFM / 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町2-5-17 TEL:093-531-5313 FAX:093-531-5317 <http://www.fm-kitq.com>

アジア経済情報

～「北九州貿易協会ウィークリーニュース」より～

■北九州貿易協会ウィークリーニュースとは

「北九州貿易協会ウィークリーニュース」は、(株)エヌ・エヌ・エーの提供するアジアのビジネス情報、北九州市の海外事務所(大連・上海)からの現地情報、国内外の経済情報、各種展示会情報などを満載して、毎週月曜日に北九州貿易協会会員の皆様にメール配信しています。

京滬高速鉄道が全線連結：半日経済圏が誕生へ

[中国]

北京と上海間を結ぶ京滬高速鉄道計画で、安徽省内の駅がこのほど完成し、これで全線のルートが連結した。同高速鉄道は来年には試験運航を始め、2012年には全面開通する見込み。実現すれば、北京～上海が陸路でわずか4時間内となり、半日経済圏が誕生することになる。

京滬高速鉄道は北京南駅から上海虹橋駅までの全長1,318キロメートルと、高速鉄道では世界最長クラスで、08年4月に着工した。双方向の輸送能力は年間1億6,000万人と試算されている。同ルートは7省を貫き、中間に24駅が設置される。

使用される車両は「和諧号(CRH380A)」で、営業時速350キロ、運転最高時速380キロと最速クラス。試験運転では時速416キロを記録したという。CRH380A型は、南車青島四方機車車両のCRH2C型をベースに開発した車両。またCRH2C型は川崎重工業から購入した車両で、日本のE2系新幹線がベースになっている。

建設総額は2,200億元(約2兆7,000億円)以上で、7月末時点までに計843億7,000万元が投じられた。現在までに総投資額の38%を達成したことになる。

経済への影響は制限的か：朝鮮半島情勢の緊迫化

[韓国]

韓国政府は11月24日、前日に起きた北朝鮮による韓国の延坪島砲撃を受けて経済金融状況点検会議を開催し、金融・為替市場を注視し、市場の急変に備えることを確認した。今回の事態を受け、韓国の大企業各社は非常経営に備えるなど対策に乗り出しているが、韓国経済への影響は長期化しないものとの見方が支配的だ。

政府は、金融・為替市場が急変した場合は韓国銀行と協力して市場介入し、積極的に市場安定に努めることを強調。金融・為替当局と銀行間のホットラインを稼働するほか、状況の変化に応じた機関別の対応計画を再確認し、随時、合同対策会議を開くことにした。

知識經濟部や金融委員会、韓国銀などは24時間体制で、◇国際金融◇国内金融◇輸出◇原材料◇物価——の5つの分野を随時確認し、必要に応じて対策を採る方針だ。

今回の事態が韓国経済と金融市場に及ぼす影響について、企画財政部の尹増鉉長官は「状況がさらに悪化し

ない限り、今後、経済に与える影響は制限的なもので終わるだろう」と述べた。

11月24日の韓国株式市場の総合株価指数は、朝鮮半島情勢の緊迫化を受け前日比45.02ポイント(2.33%)急落の1,883.92ポイントで取引が始まったが、開場から約10分で1,900ポイント台に回復。同日は2.96ポイント(0.15%)安の1,925.98ポイントで引けた。専門家は、今回の事態による影響は相当部分で収まったとみている。

一方、為替市場は、短期的に1米ドル=1,200ウォン以上のウォン安にふれる可能性も指摘されていたが、同日のソウルの為替市場では、終値は1米ドル=1,142.3ウォンとなり、前日比4.8ウォン安にとどまった。

また、今回の事態により金融市場の不安が拡大しているが、韓国の信用度が下方修正されるなどの影響はない見通しだ。

データベースとその活用事例のご紹介

(株)日本統計センターでは様々なデータを収集・整備しています。例えば、日本国内では、都道府県、市区町村といった地域から町丁等の小地域にわたる国の指定統計や、独自推計の性・年齢別昼間人口、所得ランク別就業者数等のデータベースを、中国国内では、省別、都市別(副省級市を含む283地級市および4直轄市)の人口、GDP、固定資産投資額、外国資本利用状況等の統計や、独自推計の性・年代別推計人口、品目別推計消費支出額等のデータベースを構築しています。ここでは、これらデータベースを用いた分析事例や、インターネットによる当社配信サービスの事例等、様々な形態によるマーケティング分野でのデータベース活用事例を紹介していきます。

データベースを用いた地域比較

◆日本と中国の年齢別人口構成を比較する

日本では、少子・高齢化が進展し、その水準は世界でもトップクラスとなっています。その結果として、医療制度や年金制度といった社会保障の問題が発生してきていますが、これらの根本的な解決法はみつかっていない状況といえます。

では、中国ではどのような状況なのでしょう。

右図は、2008年時点の推計人口(男女計のみ)を基に、日本と中国の人口ピラミッドを比較したものです。

中国の高齢化はまだそれほど進んでおらず(高齢化率は依然10%程度)、この点日本とはかなり異なった状況にあるようです。

特徴としては、日本では60歳前後と35歳前後の2つのピークがみられるのに対し、中国では、一人っ子政策の影響と考えられますが40歳前後の大きなピークの後は15～19歳に少し小さなピークがみられ、以後年々減少している状況がわかります。

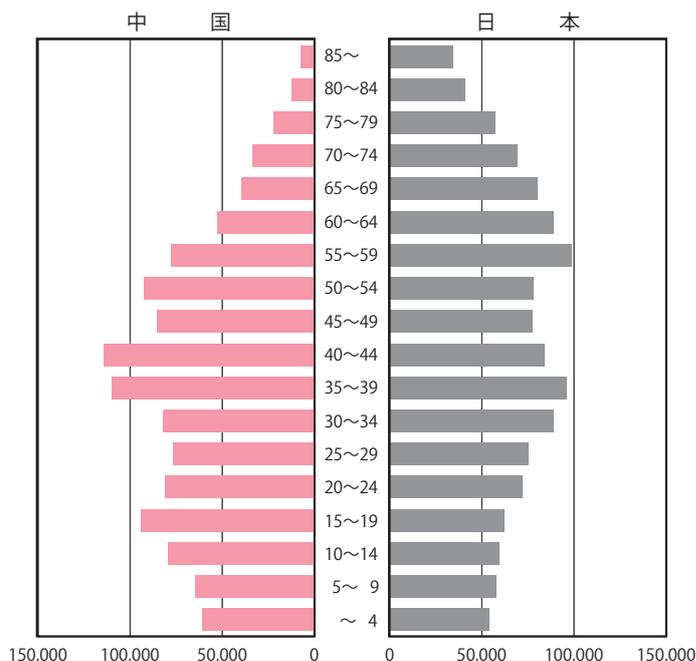
ただ、形状はよく似ており、日本から約20年後れで推移していることがうかがえます。20年後、30年後の中国では、現在の日本のような高齢社会を迎え、それを必ずしも多いとはいえない一人っ子世代を中心とした生産年齢人口が支えざるを得ない状況となりそうです。

下図は、日本と中国の主要地域について、15歳未満人口、15～64歳人口、65歳以上人口の3区分別の動向をみたものです。

どちらかといえば、ここに挙げた直轄市は中国の中では高齢化の進んだ地域なのですが、それでも日本の各地と比べるとその割合は低いといえます。また、これらの都市では一人っ子政策がより厳格に進められているようで、重慶市を除き15歳未満人口は10%程度にとどまっております、かつ減少する傾向にあることがわかります。

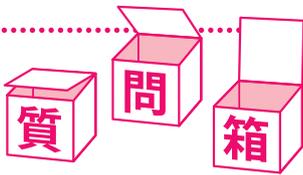
なお傾向としては、日本の4つの都府県がいずれも高齢化の方向に進んでいるのに対し、中国の都市では、現段階では変化の方向もそれぞれ異なる状況にあることがうかがえます。

■人口ピラミッドによる年齢別人口構成の日中比較



■日本と中国の主要地域における年齢別人口構成と推移

国/地域	年	年齢別人口構成 (%)			
		15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	
中国	北京市	2003年	10.5	78.3	11.2
	北京市	2008年	9.7	80.0	10.3
	天津市	2003年	14.0	75.0	11.0
	天津市	2008年	10.7	77.0	12.2
中国	上海市	2003年	8.8	74.8	16.4
	上海市	2008年	7.9	79.1	13.0
	重慶市	2003年	18.8	72.0	9.2
	重慶市	2008年	19.0	69.0	11.9
日本	東京都	2003年	11.9	70.7	17.3
	東京都	2008年	11.8	68.6	19.5
	愛知県	2003年	15.2	68.7	16.1
	愛知県	2008年	14.8	66.2	19.0
日本	大阪府	2003年	14.2	69.0	16.8
	大阪府	2008年	13.9	65.6	20.5
	福岡県	2003年	14.4	67.0	18.6
	福岡県	2008年	13.9	65.2	20.9



(大阪税関 税関相談官室)

社名変更に係わる税関手続きについて

Q 当社は通関業者を利用して継続的に中国から繊維製品を輸入していますが、この度社名を変更することとしており、税関手続き面における以下の事項についてご教示願います。

- 1.税関輸出入者コードについては、税関ホームページ上で発給申請を行った後、法務局にて取得した「登記事項証明書」を提出し、コードが付与されていますが、社名の変更については何時の時点でどの様な手続きが必要ですか。
- 2.関税等の納付については、銀行を保証人として「納期限延長制度(包括)」を利用していますが、社名の変更に伴いどの様な手続きが必要ですか。
- 3.社名変更手続き完了後に貨物が到着しますが、インボイスや原産地証明書等の通関関係書類の全てが旧社名で記載されている場合に、新社名にて輸入申告する際にどの様な手続きが必要ですか。

A 1.税関発給コード申請内容の変更手続きについて

申請内容に変更が生じた場合には、速やかに税関発給コード申請ホームページにて変更申請を行い、申請内容の変更を行ってください。

社名変更の際は、再度、税関が申請者の対査確認(存在権認)を行うことから、変更申請後、「登記事項証明書」(履歴事項全部証明書:発行から3ヶ月以内のもの)を税関に提出していただく必要があります。

税関発給コード申請ホームページにて変更申請を行うに当たって、セキュリティ確保の観点から、当初の申請時に発行された「発給申請ID」と「パスワード」が必要となります。

なお、「発給申請ID」と「パスワード」のどちらか一方を失念した場合には、申請トップメニューの「発給申請IDやパスワードを忘れた場合」から、参照又は変更することができますが、両方を失念した場合等は、東京税関調査部税関発給コード担当に連絡の上で、貴社の所在地を管轄する税関官署の通関総括担当部門に来庁し、所定の手続きを行っていただくこととなりますので、ご注意願います。

詳しくは、東京税関調査部税関発給コード担当又は各関通関総括部門へお問い合わせください。

2.納期限延長制度にかかる保証内容の変更手続きについて

社名を変更した場合は、保証人より社名変更後においても引き続き保証する旨を記載した「保証内容確認書」(任意様式1部)を作成していただき、「保証書等の保証内容の変更届出書」(任意様式2部)とともに、担保提供をしている税関官署へ提出してください。

なお、記載内容等の詳細については、担保を提供している税関官署の出納課へお問い合わせください。

3.通関関係書類が旧社名の場合における通関手続きについて

新社名で申告するに際して、「インボイス、B/L(船荷証券)」等が旧社名であったとしてもインボイス等を差し替える必要はありませんが、通関を適正・迅速に実施するため、出来れば事前に社名を変更されたことが確認できる案内文書等を税関の文書係に提出していただくか、申告の際に添付していただくことをお勧めします。

「貿易実務ダイジェスト(2010年8月号)」より転載

海外事務所紹介

駐大連北九州市経済事務所 副所長 辛川 公浩

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年もよろしくお祈りいたします。

北九州市と大連市とは友好都市締結以来32年にわたり、経済、学術、文化など様々な分野で交流を推進しており、当事務所も本年7月で開設20周年を迎えます。

業務は多岐に及びますが、その中で最も力を入れているものとしては、チャレンジショップが挙げられます。現在39の企業様より出展をいただいております、物品の販売やビジネスパートナーの発掘を行っております。

今般11月19日より今までの心悦ホテルから香洲花園ホテルへと移転し、店舗リニューアルを行いました。以前の場所よりも人通りが多い地域であると同時に、オフィス街のど真ん中であつた今までは、オフィス街でもありかつ居住区も近い今回の移転先では、今までと違った客層も期待でき、ビジネスチャンスの幅も広がっていくものと考えております。

中国の中でも一番の親日的と言われている大連市。中国進出の足がかりの一つとして新しくなったチャレンジショップを是非ともご活用ください。職員一同、微力ながらも全力でご支援させていただきます。

リニューアルオープンしたアンテナショップの様子
日本北九州商品展銷中心
北大橋



●お問い合わせ先

駐大連北九州市経済事務所

(北九州貿易協会 大連代表処)

中華人民共和国遼寧省大連市中山路147号 森茂大厦5階

TEL:86-411-8360-7298 / 7268

FAX:86-411-8360-7138

E-mail:kod@online.ln.cn

事務所職員一同で上海万博を視察
(左から田村副所長、岩田所長、任さん、陸さん)



●お問い合わせ先

駐上海北九州市経済事務所

(北九州貿易協会 上海代表処)

中華人民共和国上海市盧湾区淮海中路398号
世紀巴士大厦9楼 B1

TEL:86-21-6385-8821 / 8831

FAX:86-21-6385-8856

E-mail:tamura@beijiuzhou.com

駐上海北九州市経済事務所 副所長 田村 卓也

新年のご挨拶

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。旧年中ひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。

2011年は昨年成功裏に行われた『上海万博』後の最初の年であり、中国が真の成長を遂げられるかを占う意味でも重要な一年となります。新興国から先進国へ新成長路線を歩むべく上海市では様々な取組が行われています。その中の一つ、浦東新区のスマートグリッド実験構想が今年から張江ハイテクパークでスタートします。北九州市の東田地区でも取組んでいるテーマだけに注目です。また上海万博の会場跡地の再開発は高層住宅や商業施設を建設予定で、波及効果が数千億元(数兆円)に上るとされます。その他にも中国本土で初めてとなる上海ディズニーランドが2014年の開園に向けて工事中です。

北九州市上海事務所は今年で開設7年目を迎えます。何かと衝突の多い日中関係ですが、本年も昨年から取り組んでいる環

境協力事業や学校交流事業の推進に取り組み、また一人でも多い中国人観光客の誘致実現に向けた観光PR事業を積極的に行うと同時に物産振興にも積極的に関与していきます。北九州市内企業様の中国ビジネスの援助・サポートに尽力していき、北九州市の橋頭堡となる日中の架け橋となるべく事務所職員一同邁進していく所存です。



九州工業大学事業開発ビジネス講座 ～これからの10年を見据えた企業戦略～

日時 2011年2月1日(火)、8日(火)、22日(火)、3月1日(火)、8日(火) 15:00～16:30
会場 AIMビル8階「KI小ホール」(北九州市小倉北区浅野3-8-1)
料金 無料
主催 九州工業大学、九州工業大学技術交流会、中小企業応援センター北九州地域中小企業支援ネットワーク
URL <http://www.ccr.kyutech.ac.jp/collabo/jigyokaihatu-2011.html>

〈第1回〉2月1日(火)	講師◆経済産業省 大臣官房参事官 谷 明人氏 演題◆産学連携の成功事例と、そこから学ぶもの
〈第2回〉2月8日(火)	講師◆宮本工業(株) 代表取締役社長 宮本 尚明氏 演題◆新技術開発・新市場開拓で、“脱・下請け”を目指す
〈第3回〉2月22日(火)	講師◆(株)筑水キャニコム 代表取締役社長 包行 均氏 演題◆『ものづくりは演歌だ!』 ～義理と人情をお届けします～
〈第4回〉3月1日(火)	講師◆広島大学院社会科学部研究科教授・博士(商学) 井上 善海氏 演題◆これからの10年を描く戦略ビジョン
〈第5回〉3月8日(火)	講師◆システム・インテグレーション(株)代表取締役社長 多喜 義彦氏 演題◆新しいビジネスモデルで第三創業 ～開発の鉄人が語るこれからのビジネスモデル～

九州工業大学では、平成17年度から公開講座として、広く社会人を対象とした「事業開発ビジネス講座」を開催しています。

今年度は、日本が今後、何で稼いでいくのか、またどのような出口戦略を以て新たな市場を開拓するのかを命題に、「これからの10年を見据えた企業戦略」をテーマに、産学官の有識者を招聘し、5回に亘り本講座を開催します。

お問い合わせ先

九州工業大学産学連携推進センター(石丸、安田)
 TEL:093-884-3485 E-mail:kyutech-collabo@ccr.kyutech.ac.jp

出向・移籍で築く 人と企業の安心ネット

経済・産業団体、厚生労働省と連携して、全国的なネットワークで出向・移籍のあっせんに努めています。

幅広いデータベース

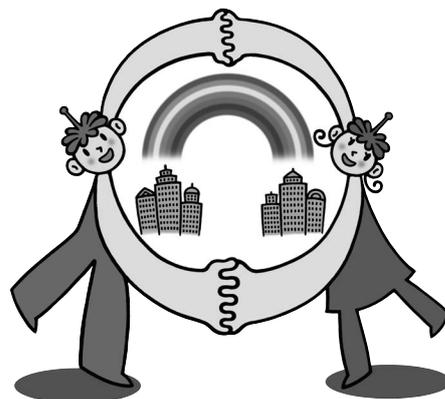
ハローワークや経済団体などと連携し豊富な人材情報を提供しています。

信頼と安心のかけはし

経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

■**在職者の方もサポート** 在職者の方の職業相談・職業紹介を行っています。

■**相談等の費用は無料** 情報の提供、相談、あっせんについての費用はかかりません。



お気軽にご相談ください

財団法人産業雇用安定センターは、「企業と企業をつなぎ、企業と人材をむすぶ、出向・移籍のかけはし」です。

全国ネットの人材情報

企業間の出向・移籍のお手伝いを47都道府県の事務所で行っています。

出向・移籍の専門機関
財団法人産業雇用安定センター

ご利用時間 9:00から17:00(土・日・祝日は休業) **ホームページ** <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

福岡事務所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル6階 TEL092-475-6295 FAX092-434-5272
 北九州駐在事務所 / 〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町1-10-10 大同生命北九州ビル7階 TEL093-531-7806 FAX093-531-7906